

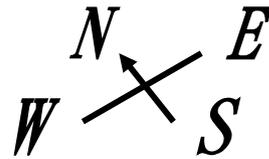
2018年3月1日

第286号

藤 沢

# エコネット

藤沢環境運動市民連絡会議  
(略称) 藤沢エコネット



主  
な  
記  
事

- ・マーシャルの人々は今
- ・葉山の海岸ウォーク
- ・レジームシフトにまつわる逸話
- ・おばけハゼ ・放射能測定値

<http://econet2015.sakura.ne.jp>

事務局 e-mail: [aoyagipc@jcom.home.ne.jp](mailto:aoyagipc@jcom.home.ne.jp) 青柳

FAX 0466-87-4922

## 飯舘村での除染限界、生活・コミュニティ再建の課題

### －「例外状態」に暮らす不条理－

#### ★「被曝例外状態」という不条理

飯舘村民への支援活動を継続している。2017年3月末に一部地域を除いて、被曝下での避難解除という「被曝例外状態」が、国、県、村当局の例外政策（一種の「放射能逆戒厳令」）によってもたらされている。震災前の規制値を政策的に緩くすることで、放射能被曝下で国民が暮らすことを積極的に許可し、そのための人工環境を公共事業で整えることを進めることで、被曝下での生活を誘導する「帰還優先政策」が促進されている。一方で、飯舘村民はADRで初期被ばく慰謝料を要求し、東電は「避難指示以降の村内での被曝は自己責任」という非常識な反論を提示し、和解案を拒否する不条理が続いている。

#### ★放射性セシウムは残っている、特に山に。汚染された農地を耕し、農産物をつくる不条理

飯舘村の宅地と農地は表土5cmの土、宅地周囲20mの森林は落ち葉が除染され、自然半減の効果もあり空間線量率は半分以下となっている。ただ、除染された土壌内にも放射性セシウムは残存して、森林土壌は除去されず一万Bq/kgを超える汚染、樹木も汚染されたままである。放射線管理区域の規制値を超えた状況は長期化する。帰村した村民の自家用畑では除染後でも1000Bq/kgを超える。野菜への移行率は低く2～3Bq/kg程度ではあるが、震災前の100Bq/kg以下の基準を超えた汚染土壌で帰村し農産物を作らざるを得ない不条理がある。

#### ★二重居住権の確保と「放射能汚染対策法」の制定

飯舘村民の帰還率は高齢者であり村民の1割弱である。村外に住宅を確保し村内の宅地・農地の管理をする世帯主層、帰村は断念し村外で生活再建を決めた若い村民達、この多様な村民の生活再建を尊重し、将来の帰村も含めた飯舘村での居住権の確保と、避難移住先での居住権の確保という、二重居住権の補償が必要である。そのためにも、「放射能汚染対策法」の立法化が必至である。

☆一連の支援活動、本稿の詳細情報は、筆者が共同世話人の「飯舘村放射能エコロジー研究会。(<http://iitate-sora.net/>)を参照 糸長浩司（日本大学特任教授）



最近の福島県飯舘村の風景

## マーシャルの人々は今 海の中から地球が見える

2月4日（日）市民会館にてピースリレー・ふじさわ主催の講演会があり、お話は武本匡弘さん（プロダイバー）でした。

「きょうは風が吹いていますか？」「強いですか？弱いですか？」「どちらから吹いていますか？」矢継ぎ早の質問が飛び幕開きでした。参加者の手の上がり方はまちまちでした。ヨットに乗っている武本さんは自然との対話で一日が始まるということがわかる初めのひとこまでした。

たくさんの海の自然、歴史のひとコマの写真など、パワーポイントを使って紹介しながら、時々参加者の席の中まで入っての質問で、スリリングでしたが、あとで質問の時間がなくなるほどに熱の入った話は中身の濃いものでした。

マーシャル諸島のビキニ環礁で行われたアメリカの水爆実験での、第5福竜丸の乗組員の被爆のニュースは記憶に鮮明です。久保山愛吉さんのこと、原子マグロというショッキングな言葉でしばらくはマグロが食べられないと言われたこと、などなど沢山のことが報ぜられました。

同じとき、ビキニの近くのロングラップ島では島民が避難させられることなく実験が行われ、何も知らされていない島民は死の灰（水爆実験で爆破されたサンゴが粉々になって降ってきた）を浴び被爆しました。人体実験をしたのでした。その後、避難させられましたが、島の状況は子供たちの健康を考えれば帰りたくても帰れない、原発事故後の福島の状態と共通するありさまが今も続いています。

当時、このマーシャル諸島の海に日本の科学者が現場の海の状態の検査のために船を乗り出して行ったこと、放射能の値が高くなり、まさに命がけの行動だったことが紹介されました。

沢山のことが話された中には、イルカに時限装置の爆弾をつけて攻撃させる訓練の写真もあって、話には聞いていてもショックなことでした。

自然と共に生きるひとのいとなみを壊してまで進もうとする、「今だけ、金だけ、自分だけ」資本主義の矛盾を表した言葉に会場の共感の笑いをさそいながらの講演でした。（福田紀子）

## 葉山の海岸ウオーク

チラシで葉山の海岸を歩くと知り、葉山に住んでいる私としては参加したいと思いました。

藤沢の人にも会えるかな！と楽しみにしていましたが、集合場所の銚摺バス停には若い人がいっぱい。知っている人は主催者で講師の武本匡弘さん（葉山在住プロダイバー）だけでした。風が強くて寒かったけれど良く晴れて、江の島の向こうに丹沢、富士山、箱根、伊豆、大島がくっきり見えました。

磯づたいに歩きます。子どもの頃には飛び跳ねていたものでしたが、今はおっかなびっくり、若い人に遅れまいと必死に歩きました。

穴がいっぱい開いた大きな石がありました。かもめ貝が住んだ跡だそうです。かもめ貝は幼児には水に漂っているのですが、大人になると住む場所を決め、ずっと同じ場所で体が大きくなると穴を広げていくそうです。ヤドカリは次々に大きな貝に住み替えるのに、かもめ貝は大きな穴に引っ越したりはしないのです。うらやましがっていいのか、哀れんでいいのか。私だったら一生同じ場所にはいられないだろうな、と思います。

森戸神社にたどり着き、「このまっすぐの方向に浜岡原発があります」と武本さんが説明してくれました。事故が起こり南西の風が吹いたらここへも放射能が飛んでくるそうです。

歩き疲れたので、私はここでお別れすることにしました。家はすぐ近くです。そうしたら、もう一人ここで帰るとい方がいらして、ご近所さんだとわかりました。

いろいろ説明して下さる時、武本さんがしきりに手話を使われるので、どうしてかと思ったら、スタッフの一人が聴覚障がいの方だったのです。でも言われなければわからない様にきびきびと行動されていて、



しかも海に興味を持って、風や波に挑戦しようとする姿に感動しました。

疲れたけれど、実り多いウォーキングでした。（甘粕君江）

## レジームシフトにまつわる逸話

### その I

1月20日に行われた世界的な海洋学者、故川崎健先生を偲ぶ会(『漁業科学レジームシフト～川崎健の研究史』出版記念)が行われ、日本水産学会や東北大学の研究者が故人を偲んでリレートークがありました。その中の一つの逸話を紹介します。

これからお話しすることは、私が2000年代に川崎先生のお仕事に接した時の「逸話」のような「2題」です。その一つは、先生の「著書」(『資源管理—なぜ管理できないのか—』)と私の「『資源管理—なぜ管理できないのか—』についての書評」(『漁業経済研究』第44集, 3号)、そして、これに「応答」したと思われる先生の「論文」(『海洋生物資源の基本的性格とその管理』)です。

この論文は、この度出版された『漁業科学とレジームシフト～川崎健の研究史』の182ページ～210ページに再録されています。

私には私の書評が先生のこの論文を書くキッカケになっているのではないかとと思うところがあります。そのキーポイントは宇沢弘文の著書などの取り扱いにあります。先生は著書執筆の折には、これらの分野が視野に入っていませんでした。そのためか、先生はこの著書で悲観的ともみられるような「結論」を出さざるを得ませんでした。そこで、私は書評で生かじりの宇沢弘文の「社会的共通資本論」や「コモンズの経済理論」などによると「展望」が開けるのではないかと書きました。そうすると、先生は内外の文献を読み込まれまして、前記「論文」を書かれました。そして、見違えるような展望を示されたのです。お手元の『研究史』の182ページをご覧ください。先生の論文としてはめずらしい書き出し・・・、206ページ以下の終章でのさきの著書からは一転した明るい展望がうたいあげられているのがみられます。(次回につづく)  
大海原宏(東京水産大学名誉教授・福井県立大学名誉教授)

## おばけハゼ

父は会社の都合で、川崎から隣の横浜市鶴見区の

高台・東寺尾にまたまた転居するはめになった。鶴見川からも離れているし、静かな住宅地でイジメからも解放された。

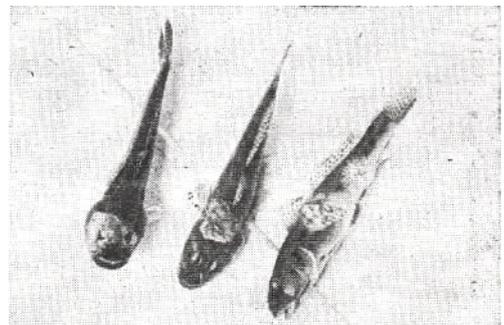
寺尾中学の東裏が三池公園で、フナやコイがたくさんいた。釣り禁止の看板などおかまいなし、焚火で焼いて食べました。3月もしないうちに知れ渡り、校長からひどく叱られた。火を使ったことが原因らしかった。

釣り仲間もできていたので、日曜ごとに鶴見川河口の船宿でボートを借りてハゼ釣りに熱中した。約20センチで大型のものが多く、100～200尾、たまにはウナギも混じって大漁だ。家では日曜の夕食は天婦羅が決まりになった程だった。3年間は毎週釣りに没頭した。

たまに奇形のおばけハゼが釣れた。こぶがあったり、背びれが変形、背骨が曲がったり、尾が二つあったりして、釣り仲間では「おばけハゼ」と呼んでいた。

1955年頃だったと思う。高校に入り、1年の担任の先生が生物だったので、おばけハゼを見せたところ、「水質汚染による公害魚かも知れないので、食べないように」と注意された。

当時は戦後の企業優先、追いつけ追い越せ一辺倒の時代だった。水質汚染による公害魚など思いも寄らない時代背景があった。



横浜平潟湾のおばけハゼ  
1970.11.24 朝日新聞より

この原稿を書くにあたり、新聞を調べたところ、1970年頃から「おばけハゼ出現か？」とマスコミで報道され始めた。「おばけハゼ」の言葉も使われていた。発がん物質かも？と発表され始めていた。私たちが体験した「おばけハゼ」から15年以上も年月が経っていた。行政も調査し始めましたが、京浜工業地帯の企業を守ることばかり考えているようだ。

いつの時代にも、行政は住民を守ることを第一としないのは常道のような。 つづく。(国枝 健)

## 第5回ふじさわ平和文化展へのお誘い

自然は、平和なくしては守れません。ふじさわ平和文化展の実行委員の木下さんから、今年の展示会のメッセージを寄せていただきました。

春をよぶ ふじさわ平和文化展  
2018.3/27(火)~4/1(日)  
藤沢市民ギャラリー第3展示室

1年前に開きました「ふじさわ平和文化展」には多くの方にご来場いただきありがとうございました。

このたび、皆さまの熱い期待とご協力に支えられて、第5回を開催する運びになりました。深く感謝申し上げます。前回も多くの方々に観て頂き、継続した取組みが求められていました。新たな展示者の協力も得られ、お互いに市民として、市民の方々へのメッセージとしてお伝えできれば幸いです。

藤沢には平和を愛する先人達の歴史の足跡と文化作品が数多く残っています。そこには私たちの狭い見聞ではまだまだ手の届かない作品、分野も多く残っています。

私ども実行委員会としましては、世界に誇る日本国憲法を守り、藤沢の平和文化の継承のためにも貢献したいと願う昨今です。

この平和文化展の場が、皆さま方の交流の場として、さらに大きくなってゆければ何よりの喜びです。今後とも皆さまのお力をどうぞおかし下さい。

(平和文化展実行委員 木下 薫)



昨年の展示作品 NMさんの絵手紙  
「サツマ芋の花」

### 放射能測定値 (市民計測)

(HORIBA Radi) 単位 (μSv/h)

2/14 (晴) 少年の森で計測

管理棟入り口	0.027
自由広場	0.030
管理棟室内	0.035
炊事場	0.054
駐車場	0.048

## ECONET INFORMATION

### ▲静かな空を返せ♪の歌声を

横井久美子さんをゲストに合唱、独唱の歌声が響きます

3月10日(土)13:30- 前売券 1000円

大和駅前 シリウス メインホール

主催：大和みんなでつくる平和コンサート実行委員会  
046-272-0103(平原) 090-2667-5085(永山)

### ▲僕らが平和をたべてるとき

アーサー・ピナードさん (アメリカ生まれ詩人)

長谷川義史さん 大友剛さんが出演

3月31日(土)13:00-15:30

茅ヶ崎市役所分庁舎6階 前売り券 2000円

申込み [collabo331@yahoo.co.jp](mailto:collabo331@yahoo.co.jp)

主催 アーサー・ピナードさん講演会実行委員会

### ◆飯館村民支援活動報告・交流会

・村民の思い・支援活動の報告・除染の限界など

日時：3月17日(土)14:00-17:00

アーツ千代田 3331 1階ラウンジ

(東京メトロ銀座線末広町4番から1分)

参加費：500円 申込 [eas@bronze.ocn.ne.jp](mailto:eas@bronze.ocn.ne.jp)

主催：NPO法人エコロジー・アーキスケーブ

### ▲憲法は生きているか？

故郷を奪われて 原発被害

伊藤真弁護士講演ほか

3/27(火)18:30-

神奈川県弁護士会館 無料 045-211-7705



### ▲藤沢エコネットから

◆会員募集 年会費・購読料→2000円

今年度分未納の方は納入をよろしくお願ひします

◆事務局会議3月4日(日)10:00~

市民活動プラザ六会

《編集後記》寒かった2月、平昌冬季オリンピックに沸いた。努力を重ねメダルを手にした選手たちに、メダルに届かなかった選手たちにも称賛の気持ちを届けたい。次はパラリンピックに活躍を祈る。3.11から7年になり復興と帰還の中にある福島の方々の思いは…。お店や医療機関もなく放射能も心配の所へ早く戻ってきてというのが、若い世帯に決断は厳しい状態だ。戻った世帯は高齢者が多い。援助はまだ必要だ。(H)